

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東大

上場会社名 日本精工株式会社

コード番号 6471 URL <http://www.nsk.com>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 大塚 紀男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役常務財務本部長

(氏名) 斉藤 佳男

TEL 03-3779-7111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	115,804	△39.5	△4,517	—	△8,114	—	△5,346	—
21年3月期第1四半期	191,462	—	15,262	—	16,182	—	9,614	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△9.89	—
21年3月期第1四半期	17.78	17.78

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	758,303	256,712	31.8	445.71
21年3月期	744,229	248,787	31.4	431.74

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 240,953百万円 21年3月期 233,395百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	4.00	14.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期									
連結累計期間	250,000	△34.8	△7,000	—	△12,000	—	△8,500	—	△15.72
通期	550,000	△15.1	3,000	△86.4	△5,000	—	△3,500	—	△6.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 551,268,104株 21年3月期 551,268,104株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 10,660,902株 21年3月期 10,671,192株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 540,611,556株 21年3月期第1四半期 540,591,965株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のグローバル経済は、各国政府による政策効果もあり、前期後半からの急激な景気悪化に対し、一部に底打ちの兆しがみられたものの、総じて低調に推移しました。

当社グループの事業領域におきましては、自動車向けは、自動車メーカーの在庫調整の進展や各国の販売優遇策等もあり、前期第4四半期を底に需要回復の兆しがありますが、産業機械向けは、設備投資の低迷により需要の減少が続きました。

このような状況の中で、当社グループは、前期後半からの緊急収益対策を継続し、人件費や経費の削減、設備投資の圧縮に取り組むとともに、産業機械軸受や精密機器関連製品の拡販の推進による物量の確保に努めてまいりました。

第1四半期連結累計期間の売上高は1,158億4百万円と前年同期に比べ39.5%の減収となりました。利益面につきましては、物量減や円高による輸出採算の悪化に対し、人件費や経費の削減、外部調達コストの削減に努めましたものの、営業損失 45億17百万円（前年同期は152億62百万円の営業利益）、経常損失 81億14百万円（前年同期は161億82百万円の経常利益）となりました。税金費用、少数株主利益を控除した結果、四半期純損失 53億46百万円（前年同期は96億14百万円の四半期純利益）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①産業機械軸受

売上高は、一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けがグローバルに景気悪化の影響を受けて減少しました。この結果、売上高は350億67百万円（前年同期比△42.2%）となりました。利益面では、人件費や経費の削減に努めましたが、大幅な物量の減少により、営業損失 10億45百万円（前年同期は81億98百万円の営業利益）となりました。

## ②自動車関連製品

自動車軸受及び自動車部品の売上高は、自動車メーカーの在庫調整が終了しつつあり、生産に回復の兆しがあるものの、グローバルに自動車販売台数が低迷したことから減少となりました。

この結果、売上高は707億53百万円（前年同期比△34.5%）となりました。利益面では、人件費や経費の削減、外部調達コストの削減に努めましたが、物量減や円高による輸出採算の悪化から営業損失 30百万円（前年同期は61億26百万円の営業利益）となりました。

## ③精密機器関連製品

売上高は、工作機械向け、半導体製造装置向けの販売が大幅に減少したため、ボールねじを中心とした直動製品が減少しました。この結果、売上高は62億62百万円（前年同期比△58.0%）となりました。利益面では、人件費や経費の削減に努めましたが、大幅な物量の減少により営業損失 18億16百万円（前年同期は14億5百万円の営業利益）となりました。

## ④その他

その他部門の売上高は、外部顧客向け鋼球の減少などにより、売上高は70億円（前年同期比△50.6%）、営業損失は6億49百万円（前年同期は9億43百万円の営業利益）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

産業機械軸受の売上高は、一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けが減少しました。自動車関連製品は、自動車メーカーの在庫調整が終了しつつあり、生産に回復の兆しがあるものの、自動車販売台数の低迷の影響を受けて減少となりました。精密機器関連製品は、工作機械向けや半導体製造装置向けが減少しました。

この結果、日本の売上高は834億66百万円（前年同期比△39.8%）となりました。利益面では、人件費や経費の削減による効果はあるものの、大幅な物量の減少、円高による輸出採算の悪化などにより営業損失 43億59百万円（前年同期は89億21百万円の営業利益）となりました。

②米州

産業機械軸受の売上高は、一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けが減少しました。自動車関連製品は、自動車メーカーの減産の影響を受けて減少しました。精密機器関連製品は、工作機械向けや半導体製造装置向けが減少しました。

この結果、米州の売上高は136億40百万円（前年同期比△44.8%）となりました。利益面では、人件費や経費の削減による効果はあるものの、大幅な物量の減少により、営業損失 4億33百万円（前年同期は7億93百万円の営業利益）となりました。

③欧州

産業機械軸受の売上高は、景気悪化の影響を受け一般産業向けや電機向け、アフターマーケット向けが減少しました。自動車関連製品は、販売優遇措置により電動パワーステアリングの増加はあるものの、自動車メーカーの減産の影響が大きく、減少となりました。精密機器関連製品は景気悪化の影響を受け工作機械向けが減少しました。

この結果、欧州の売上高は223億12百万円（前年同期比△40.3%）となりました。営業利益は、外部調達コストの削減による効果はあるものの、大幅な物量の減少などにより13億84百万円（前年同期比△60.5%）となりました。

④アジア

産業機械軸受の売上高は、アセアンでの情報機器向け販売の回復基調はあるものの、その他は景気悪化の影響を受けて減少となりました。自動車関連製品は、中国における販売優遇措置の効果により回復基調となりましたが、自動車販売台数の低迷の影響を受けて減少となりました。精密機器関連製品は、主に台湾、韓国の需要低迷の影響を受けて減少しました。

この結果、アジアの売上高は183億58百万円（前年同期比△38.1%）となりました。営業利益は、人件費や経費の削減による効果はあるものの、物量の減少などにより3億21百万円（前年同期比△90.1%）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### （総資産）

総資産は、7,583億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ140億74百万円増加しました。主な増加は、株式市場の上昇に伴う投資有価証券96億92百万円、たな卸資産27億76百万円です。負債は、5,015億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億48百万円増加しました。

### （純資産）

純資産は、2,567億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ79億25百万円増加しました。主な増加は、その他有価証券評価差額金60億19百万円、為替換算調整勘定68億80百万円であり、主な減少は、四半期純損失53億46百万円によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費89億12百万円などの収入がありましたが、税金等調整前四半期純損失81億14百万円などの支出があり、46億95百万円の収入となりました。前年同期の営業活動によるキャッシュ・フローは129億13百万円の収入であり、前年同期比82億18百万円の収入減少となりました。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得56億38百万円などの支出により、61億73百万円の支出となりました。前年同期の投資活動によるキャッシュ・フローは129億3百万円の支出であり、前年同期比67億29百万円の支出減少となりました。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払20億38百万円などの支出により、22億86百万円の支出となりました。前年同期の財務活動によるキャッシュ・フローは138億98百万円の支出であり、前年同期比で116億11百万円の支出減少となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は1,229億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億45百万円の減少となりました。また、前年同期比で228億84百万円の増加となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期決算短信発表時(平成21年5月12日)に公表いたしました平成22年3月期連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)につきましては、変更ありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,741	77,712
受取手形及び売掛金	100,384	97,890
有価証券	35,835	46,300
製品	65,286	60,965
仕掛品	33,738	34,926
原材料及び貯蔵品	10,421	10,777
その他	43,843	42,561
貸倒引当金	△1,126	△1,543
流動資産合計	375,125	369,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	70,891	71,423
機械装置及び運搬具(純額)	122,751	122,494
その他(純額)	55,343	55,803
有形固定資産合計	248,986	249,721
無形固定資産	10,618	10,483
投資その他の資産		
投資有価証券	68,534	58,842
前払年金費用	44,593	45,191
その他	10,970	10,949
貸倒引当金	△525	△549
投資その他の資産合計	123,573	114,433
固定資産合計	383,178	374,638
資産合計	758,303	744,229

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,336	74,006
短期借入金	90,898	90,175
1年内償還予定の社債	17,000	7,000
未払法人税等	1,566	1,915
その他	44,359	37,225
流動負債合計	226,161	210,322
固定負債		
社債	110,000	120,000
長期借入金	106,548	105,990
退職給付引当金	25,182	25,170
役員退職慰労引当金	1,229	1,439
環境対策引当金	168	174
その他	32,300	32,344
固定負債合計	275,429	285,119
負債合計	501,591	495,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	78,324	78,324
利益剰余金	129,118	134,455
自己株式	△4,154	△4,149
株主資本合計	270,465	275,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,548	5,528
為替換算調整勘定	△41,059	△47,940
評価・換算差額等合計	△29,511	△42,412
新株予約権	316	289
少数株主持分	15,442	15,102
純資産合計	256,712	248,787
負債純資産合計	758,303	744,229

(2) 四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	191,462	115,804
売上原価	148,751	98,436
売上総利益	42,711	17,368
販売費及び一般管理費	27,448	21,885
営業利益又は営業損失(△)	15,262	△4,517
営業外収益		
受取利息	417	202
受取配当金	739	624
持分法による投資利益	1,058	487
その他	1,250	1,295
営業外収益合計	3,465	2,610
営業外費用		
支払利息	1,546	1,598
製品補償費	—	3,394
その他	999	1,214
営業外費用合計	2,545	6,207
経常利益又は経常損失(△)	16,182	△8,114
特別利益		
固定資産売却益	489	—
特別利益合計	489	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	16,671	△8,114
法人税等	6,541	△2,791
少数株主利益	515	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,614	△5,346



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	16,671	△8,114
減価償却費	9,299	8,912
のれん償却額	171	171
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△475
退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	△611	236
受取利息及び受取配当金	△1,156	△826
支払利息	1,546	1,598
持分法による投資損益(△は益)	△1,058	△487
有形固定資産売却損益(△は益)	△489	—
売上債権の増減額(△は増加)	△7,404	△1,414
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,082	△760
仕入債務の増減額(△は減少)	49	△830
その他	8,987	7,333
小計	16,895	5,342
利息及び配当金の受取額	4,050	1,353
利息の支払額	△1,283	△1,434
法人税等の支払額	△6,749	△566
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,913	4,695
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△318	—
有価証券の取得による支出	△3,500	—
有価証券の売却による収入	4,300	17
有形固定資産の取得による支出	△13,147	△5,638
有形固定資産の売却による収入	809	43
投資有価証券の取得による支出	△436	△148
投資有価証券の売却による収入	45	5
貸付けによる支出	△19	△14
貸付金の回収による収入	34	24
その他	△670	△464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,903	△6,173

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	436	△418
長期借入れによる収入	1,364	639
長期借入金の返済による支出	△368	△459
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△12	△5
配当金の支払額	△5,168	△2,038
少数株主への配当金の支払額	△336	△116
その他	187	111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,898	△2,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	775	1,341
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,112	△2,423
現金及び現金同等物の期首残高	113,226	124,944
連結子会社の決算期変更による増加高	—	477
現金及び現金同等物の四半期末残高	100,114	122,998

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	産業機械 軸受 (百万円)	自動車 関連製品 (百万円)	精密機器 関連製品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	60,652	107,957	14,904	7,947	191,462	—	191,462
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	6,228	6,228	(6,228)	—
計	60,652	107,957	14,904	14,176	197,690	(6,228)	191,462
営業利益	8,198	6,126	1,405	943	16,674	(1,411)	15,262

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	産業機械 軸受 (百万円)	自動車 関連製品 (百万円)	精密機器 関連製品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	35,067	70,753	6,262	3,721	115,804	—	115,804
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	3,279	3,279	(3,279)	—
計	35,067	70,753	6,262	7,000	119,084	(3,279)	115,804
営業利益又は営業損失(△)	△1,045	△30	△1,816	△649	△3,541	(976)	△4,517

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日 本 (百万円)	米 州 (百万円)	欧 州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	108,004	24,417	35,867	23,173	191,462	—	191,462
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,603	290	1,531	6,504	38,929	(38,929)	—
計	138,607	24,707	37,398	29,677	230,391	(38,929)	191,462
営業利益	8,921	793	3,505	3,245	16,465	(1,202)	15,262

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	65,451	13,559	21,915	14,878	115,804	—	115,804
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,015	80	396	3,480	21,972	(21,972)	—
計	83,466	13,640	22,312	18,358	137,777	(21,972)	115,804
営業利益又は営業損失(△)	△4,359	△433	1,384	321	△3,086	(1,431)	△4,517

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	24,897	36,230	34,816	95,944
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	191,462
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	18.9	18.2	50.1

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	13,844	21,892	23,718	59,455
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	115,804
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.0	18.9	20.5	51.3

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

## 1. 決算概要 (連結)

(単位:百万円)	平成21年3月期					平成22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	対前年同期比
売上高	191,462	191,863	153,210	111,058	647,593	115,804	60.5%
営業利益	15,262	13,350	4,588	△ 11,094	22,106	△ 4,517	—
経常利益	16,182	12,733	2,332	△ 14,283	16,964	△ 8,114	—
税引前四半期(当期)純利益	16,671	10,994	△ 367	△ 16,968	10,330	△ 8,114	—
四半期(当期)純利益	9,614	8,051	△ 598	△ 12,506	4,561	△ 5,346	—
一株当り四半期(当期)純利益(円)	17.78	14.89	△ 1.11	△ 23.12	8.44	△ 9.89	—
連結子会社数(社)	89	89	89	89		89	—
国内	23	23	23	23		23	—
海外	66	66	66	66		66	—
期末従業員数(人)	25,836	26,024	25,406	24,050		23,823	—
国内	11,270	11,234	11,242	11,155		11,491	—
海外	14,566	14,790	14,164	12,895		12,332	—

## &lt;予想&gt;

(単位:百万円)	平成22年3月期					
	前半予想	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
売上高	250,000	65.2%	300,000	113.5%	550,000	84.9%
営業利益	△ 7,000	—	10,000	—	3,000	13.6%
経常利益	△ 12,000	—	7,000	—	△ 5,000	—
当期純利益	△ 8,500	—	5,000	—	△ 3,500	—

平成21年3月期決算短信発表時(平成21年5月12日)に公表いたしました平成22年3月期連結業績予想(第2四半期連結累計期間・通期)につきましては、変更ありません。

## 2. 事業の種類別セグメント売上高

(単位:百万円)	平成21年3月期					平成22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	対前年同期比
産業機械軸受	60,652	61,048	48,640	39,190	209,530	35,067	57.8%
自動車関連製品	107,957	106,180	81,550	56,766	352,453	70,753	65.5%
精密機器関連製品	14,904	16,148	15,474	10,965	57,491	6,262	42.0%
その他	14,176	15,736	14,169	6,606	50,687	7,000	49.4%
消去	△ 6,228	△ 7,250	△ 6,623	△ 2,467	△ 22,568	△ 3,279	—
合計	191,462	191,863	153,210	111,058	647,593	115,804	60.5%

## &lt;予想&gt;

(単位:百万円)	平成22年3月期					
	前半予想	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
産業機械軸受	85,000	69.8%	100,000	113.9%	185,000	88.3%
自動車関連製品	140,000	65.4%	170,000	122.9%	310,000	88.0%
精密機器関連製品	15,000	48.3%	20,000	75.6%	35,000	60.9%
その他	18,000	60.2%	19,000	91.5%	37,000	73.0%
消去	△ 8,000	—	△ 9,000	—	△ 17,000	—
合計	250,000	65.2%	300,000	113.5%	550,000	84.9%

## 3. 事業の種類別セグメント営業利益

(単位:百万円)	平成21年3月期					平成22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	対前年同期比
産業機械軸受	8,198	7,996	4,535	△ 1,263	19,466	△ 1,045	—
自動車関連製品	6,126	4,696	1,486	△ 5,496	6,812	△ 30	—
精密機器関連製品	1,405	1,568	△ 404	△ 2,042	527	△ 1,816	—
その他	943	814	176	△ 1,101	832	△ 649	—
消去又は全社	△ 1,411	△ 1,725	△ 1,206	△ 1,189	△ 5,531	△ 976	—
合計	15,262	13,350	4,588	△ 11,094	22,106	△ 4,517	—

## &lt;予想&gt;

(単位:百万円)	平成22年3月期					
	前半予想	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
産業機械軸受	3,500	21.6%	9,500	290.3%	13,000	66.8%
自動車関連製品	△ 2,000	—	5,500	—	3,500	51.4%
精密機器関連製品	△ 4,500	—	△ 2,000	—	△ 6,500	—
その他	△ 1,500	—	△ 500	—	△ 2,000	—
消去又は全社	△ 2,500	—	△ 2,500	—	△ 5,000	—
合計	△ 7,000	—	10,000	—	3,000	13.6%

## 4. 設備投資、減価償却費

(単位:百万円)	平成21年3月期					平成22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	対前年同期比
設備投資	11,244	14,712	9,217	8,965	44,138	4,368	38.8%
減価償却費	9,299	10,121	9,977	10,332	39,729	8,928	96.0%

## &lt;予想&gt;

(単位:百万円)	平成22年3月期					
	前半予想	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前年同期比
設備投資					20,000	45.3%
減価償却費					36,500	91.9%

(注1)設備投資額の平成22年3月期予想は、有形固定資産のみへの投資額。

(注2)減価償却費の平成22年3月期予想は、有形固定資産のみの減価償却費。

## 5. 研究開発費

(単位:百万円)	平成21年3月期					平成22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	対前年同期比
研究開発費	2,541	2,850	2,559	2,741	10,691	2,134	84.0%

## &lt;予想&gt;

(単位:百万円)	平成22年3月期					
	前半予想	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前年同期比
研究開発費					10,000	93.5%

## 6. 為替換算レート

(単位:円)	平成21年3月期					平成22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期想定
期中平均レート							
US\$	104.40	107.50	97.07	93.99	100.74	97.13	95.00
ユーロ	163.12	162.64	129.22	122.90	144.47	132.51	125.00

(単位:円)	平成21年3月期					平成22年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期想定
期末レート							
US\$	106.42	103.57	91.03	98.23	98.23	96.01	95.00
ユーロ	168.07	149.05	127.96	129.84	129.84	135.53	125.00

以上